

グー・ズ・ア・ップ



個性あふれる力作を展示

44回目となる市民展覧会が市民文化会館で始まりました。美術・写真・書道の3部門で、市民の日ごろの芸術創作活動の成果を披露するもので、4日から7日まで日本画や洋画、彫刻の美術部門を展示。会場を訪れた人は、多彩でハイレベルな作品に見入っていました。

1月31日、消防隊員約100人が参加し、富士見町石井の瑞瑠寺で文化財防ぎよ演習が行われました。火災から貴重な文化財を守るため、消火活動や負傷者救助などの訓練を実施。見学者は、消防隊の素早い対応に感嘆の声を上げていました。



文化財を守る迫力の演習

1月29日から2月1日まで、前橋プラザ元氣21で、書き初め作品展を開催しました。力強い筆の運びで書かれた市内小中学生の655作品を展示。訪れた家族連れなどでにぎわっていました。



みんなの力強い作品を鑑賞

介護予防楽しみながら実践

1月31日、総合福祉会館で介護予防まつり in まえばしを行いました。参加者は介護予防サポーターと一緒に体操や体力測定、物忘れチェックなどを体験。参加者とサポーターが一体となって、会場は大いに盛り上がりました。



「群馬県の人たちに、もっと音楽に接してほしい。そのためにも聴いてくれる人たちに幸せを与えられる歌手になり、地元群馬に還元したいですね」

穏やかな口調の中にも強い意思を感じさせるメゾソプラノ歌手の諸田さん。日本人離れした歌声で、オペラを中心にクラシックを歌う。

歌手としての道を歩もうと決めたのは大学進学の時。大学卒業後はすぐにオペラの本場イタリアに留学した。お母さんがピアノを教えていたこともあり幼い頃から音楽に親しんできたが、イタリアでは歌だけではなく、人と人とのつながりの大切さも学んできた。

「音楽は曲を作る人、それを表現する人、そして聴く人がいて成り立つ

ちます。曲の時代背景や作曲者の思いを知り、ただ歌うだけではなく、聴いてくれる人たちにその思いを届けられるよう心掛けています」

おととしから定期的にサロンコンサートを市内で開催。「地元の人たちが気軽に音楽に触れられる機会を作りたい」という昔からの思いを形にしたものだ。また、昨年は前橋市・富士見村合併記念式典で歌声を披露。高い称賛を浴びた。

「継続は力なり。できることをこつこつと重ねてステップアップしていきたいですね」

日本演奏連盟に実力を認められ、3月7日(日)に東京文化会館で単独リサイタルを行う。これからも美しい歌声にさらに磨きをかけ、音楽の素晴らしさを広め続けてほしい。

いきいき まえばし人



3月に単独リサイタル

諸田 広美さん・35歳
上佐鳥町

わたしたちの学校 ニュース

生徒会長 齋藤 中坑さん

元総社中には、胸を張って誇れる伝統が2つあります。

1つは農業体験を通して食べ物や食生活について考える食農学習。皆さんは、一つの野菜がどれほどの手間と時間をかけて作られているか知っていますか。ただ収穫すればよいのではなく、苗の植え付けから夏場の除草など、さまざまな作業があります。しかし、わたしたちだけで育てていくのは難しいため、地域の人にお世話になって食農学習を進めています。地域の人と交流を深めつつ学習できる、



みんなで協力して野菜作り



行進で一丸に

素晴らしい活動です。こうした作られた野菜は、市販の物では味わえない「おいしさ」が詰まっています。もう1つは中学校総合体育大会の行進です。本校の行進には、長い間培ってきた伝統が深く刻み込まれています。もちろん、競技の対象外で、誰にでもできるものですが、わたしたちは大きなプライドを持って取り組んでいます。単純な動きだからこそ、出来栄がはつきりと分かります。熱い気持ちを込め、一丸となること。それが最高の勲章なのです。

このような伝統をより発展させ、後輩にバトンパスしていくのがわたしたちの使命であり、責任です。これからも、元総社中が未来に向かって大きく飛躍できるように、頑張っていきます。